

第4回 名寄市総合計画審議会

日時：令和4年6月28日（火）

18時30分～19時20分

場所：駅前交流プラザよろーな 1階大会議室

1 開 会

石橋総合政策部長より開会。

2 会長挨拶

今井会長より挨拶。

3 報 告

(1) 名寄市の将来人口について【資料1】

事務局より報告。

【質疑応答】

委員：事務局の説明によるとケース1の純移動率均衡というのは、子どもが生まれないという認識でよいか。

事務局：ケース1では2040年に社会増減が均衡するため、転入転出が0になる条件で推計したもの。合計特殊出生率については現2030年に1.8、2040年に2.07（人口置換水準）と仮定した推計となっている。

委員：生産年齢人口が大きく減少していく印象。高齢人口は65歳以上と定義されているが、65歳以上でも稼働できる元気な高齢者が増えており、今後も増えると思う。

4 議 事

(1) 現下の情勢を踏まえた課題の検討【資料2】

事務局より説明。

【質疑応答】

委員：人口が減少しても持続可能な社会を作る方向なのか、または現在の人口をできるだけ維持していく方向なのか、全体方針の決定に向けて他の委員と共有してから議論を進めたい。

会長：今後の審議の中で議論を深めていく。

(2) 重点プロジェクトの検討 【資料3】

事務局より説明。

【質疑応答】

委員：0～3歳の子を預けようとする则有償となっており、自宅での保育を選択すると当然働くことができない。人材不足に対応するためにも仕事ができる子育て環境づくりが必要。育児の大変さもあるが、子育て環境が不十分なことを考えると、子どもを産むことについて踏みとどまる人が多い様子。働いた分の大部分が保育料となってしまうことは、働き手の確保、出生数増加に繋がらないのではないか。子育て世代に話を聞いて施策に取り入れていただきたい

また、名寄市には転勤族が多い。子育て世代の両親が近隣にいないことをサポートできる仕組み・体制があるとよいと考える。

会長：次回以降議論予定である個別の主要施策を審議する際に議論を深めていく。

委員：重点プロジェクトに関して高齢者に関するものがない。高齢者が健康で活躍しながら生活するための施策がないと、要介護者の増加、介護保険料の増加につながる。

事務局：施策間連携はもとより、人口減少・少子化対策を掲げている「名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合性を図り、3本のプロジェクトとした。貴重なご意見をいただいたので次回までに再検討したい。

5 その他

事務局より説明。

次回は7月22日(金)に開催。後期基本計画の基本目標ごと、主要施策の検討を予定。分野については資料の事前送付とともに示させていただく。

6 閉 会

今井会長より閉会。

[会議資料]

資料1 名寄市の将来人口について

資料2 踏まえるべき現下の情勢

資料3 後期計画重点プロジェクトについて